



深澤 良信 (ふかさわ よしのぶ)
国際連合人間居住計画(ハビタット)
福岡本部(アジア太平洋担当) 本部長

「くらしやすい都市づくり」

国連ハビタットは、各国政府によるすべての人への適切な住まいの提供と持続可能な都市開発を支援するため、発展途上国を中心とした多くの国でプロジェクトを実施しており、その経験から知識を引き出して、都市化に直面する国々への支援も行っている。

世界の都市人口は、現在の35億人から、10年後の2025年までには45億人に増加し、2050年には67億人になると予測されており、世界はこのような大規模で急激な都市人口の増加や、スプロール現象、災害や気候変動に対する脆弱性、貧困とスラム、所得格差の拡大、若年層の失業、といった問題に適切に対応する必要がある。

従来の都市計画を振り返ると、ゾーニングが必ずしもよい結果につながっていない事例も見受けられる。たとえば、道路や公共空間は、都市が柔軟性を保ち変化に対応していくために必要なものだが、重要性が無視されやすく、不適切に利用されているケースがある。

しかし、都市が適切に計画され、上手に統治され、健全な財政力があれば、都市化は発展や変革の手段となりえる。地方自治体は、最前線で都市化に取り組み、逆に都市化を活用して、都市を良い方向へ導くことが期待されている。

一方で、本日の参加都市の多くは、人口の減少や超高齢化に直面し、都心部の衰退、周辺部でのスプロール現象、といった問題を抱えていることと思う。

このような状況の中、私たちは、統合的で接続したコンパクトな都市を目指すべきであり、そのような都市の重要な要素として、より高い人口密度、混合土地利用、移動の必要性の最小化、歩いてまわれる都市、すぐれたエネルギー効率、といったことが挙げられる。

コンパクトシティを実現する手法には様々なものがあるが、我々が近年進めているのは、国家レベルでの空間的枠組みづくりと、地域レベルでの都市の拡大の制御という、二層からなる都市政策手法である。

ハビタットは、都市の拡大の制御に力を入れており、「適切な人口密度」、「道路網のための十分な土地」、「混合土地利用」、「社会的な混ざり合い」といった点に関し、数値目標を設定した計画ガイドラインを提案している。それに加え、将来にわたる注意深いアプローチや都市の財源確保の重要性も強調しておきたい。

また、国際社会で現在議論されている2015年以降に取り組むべき目標、「ポスト2015年開発アジェンダ」について、ハビタットは、「環境的に安全で、社会的に統合され、生産的で、災害に強い都市の推進」に向けた数値目標を提案している。

このような情報も、くらしやすい都市づくりの参考としていただければ幸いである。

2014年4月にコロンビアのメデジン市で開催される「世界都市フォーラム」には、皆様にもぜひ参加いただき、2016年のハビタットⅢ(第3回国連人間居住会議)に向けた活発な議論をお願いしたい。



Julián CASTRO
(フリアン・キャストロ)
サンアントニオ市長(アメリカ合衆国)

世界は現在、人類史上かつてない急速なスピードで変化している。また、21世紀の世界経済において、知力が成功を測る通貨となっている。知力を生み出す地域が繁栄し、生み出さない地域は後れをとるような時代なのだ。

テキサス州サンアントニオ市は米国で7番目の大都市で、急速に発展している都市の中では4番目になる。伝統的にホスピタリティ産業が中心で、軍事都市でもあるが、最近の主要産業は、バイオサイエンスとヘルスケアである。

21世紀の世界経済において、繁栄する都市となるには、少なくとも3つのことを正しく行わなければならないと強く確信している。第一に、繁栄に必要な知力を生み出すために、何としても教育レベルの高い若者を育てること、第二に、彼らの知力と21世紀型産業をマッチングすること、第三に、安定した電力や安全できれいな水の供給、魅力的な都心づくり、生活の質を定義する芸術や公園の整備など、生活の質の基本を押さえることである。

この3点について、本市での取り組みを紹介する。1点目に関して、2012年11月、消費税を引き上げ、今後8年間にわたり、22,400人以上の4歳児に、質の高い全日制的幼稚園前教育を提供するPre-K4SAという取り組みを始めた。これにより、本市の若者が、高校を卒業して、大学へ進み、21世紀型の職業に就く備えができるようにすることをめざしている。

2点目に関して、本市は、CPSエナジーという米国最大の電気・ガスを供給する公益企業を所有している。2009年、CPSエナジーのCEOとともに、本市を新エネルギー経済の中心とし、環境への責務、風力・太陽エネルギーへの投資と雇用創出を組み合わせることを決心した。企業が本市に雇用をもたらすことを条件に、CPSエナジーは企業と電力販売契約を結んでいる。それにより、我々は環境への責務を果たすことができるばかりか、市民が快適に暮らせるような機会を提供することができるようになった。

3点目は、市政に関する基本を押さえることだ。サンアントニオ市債は米国大都市で唯一、各主要格付け機関からAAA評価を受けている。また、電気料金、水道料金の抑制に努めるとともに、公園の整備や芸術の振興など都市の生活の質向上につながる活性化に特に注意を払い、他の大都市との差別化を図ってきた。若い世代はしばしば、生活の質や都市の素晴らしさを最優先する。世界の各都市は彼らを引き付ける磁石のようなものを提供できなければいけない。

都市は素晴らしい機会に恵まれた夜明けとして、また一方で、冒険的で少々危険要素も抱える日暮れとして表現されてきた。都市の行政を担う我々の課題は、危険は取り除かなくてはならないが、この2つの面を組み合わせることである。

都市は素晴らしい機会に恵まれた夜明けとして、また一方で、冒険的で少々危険要素も抱える日暮れとして表現されてきた。都市の行政を担う我々の課題は、危険は取り除かなくてはならないが、この2つの面を組み合わせることである。

21世紀は新技術の時代であり、変化や課題により、都市に人々を引き付ける磁石となる機会を与えてきた。私たち都市がこれらの基本的なことを正しく行えば、都市は何代にもわたりさらに繁栄を続けることができるであろう。